

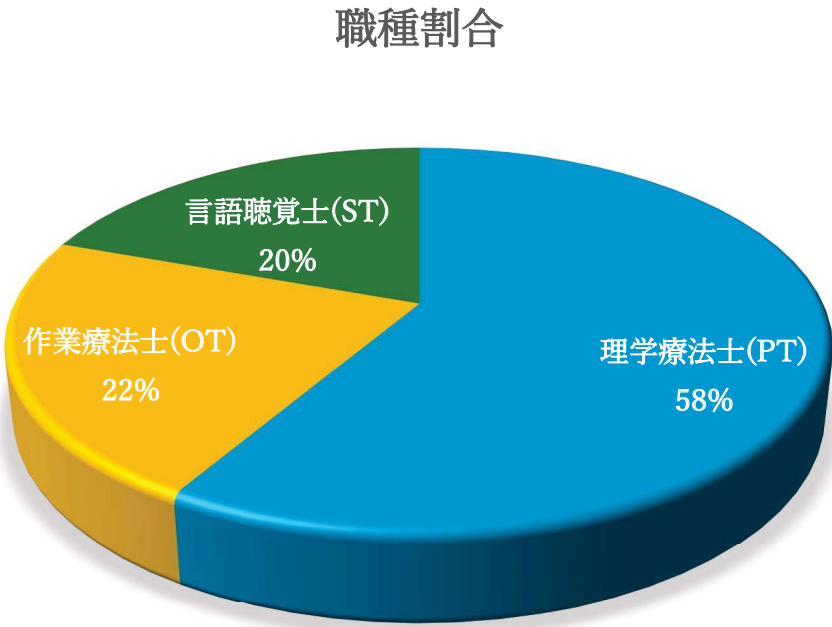
III. 回復期リハビリテーション

1. スタッフ数

	理学療法士(PT)	作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)	合計
常勤	71人	26人	23人	120人
非常勤	1.85人	0.60人	0.60人	3.05人
計	72.85人	26.60人	23.60人	123.05人

※2024 年 04 月 01 日時点

2. 職種割合

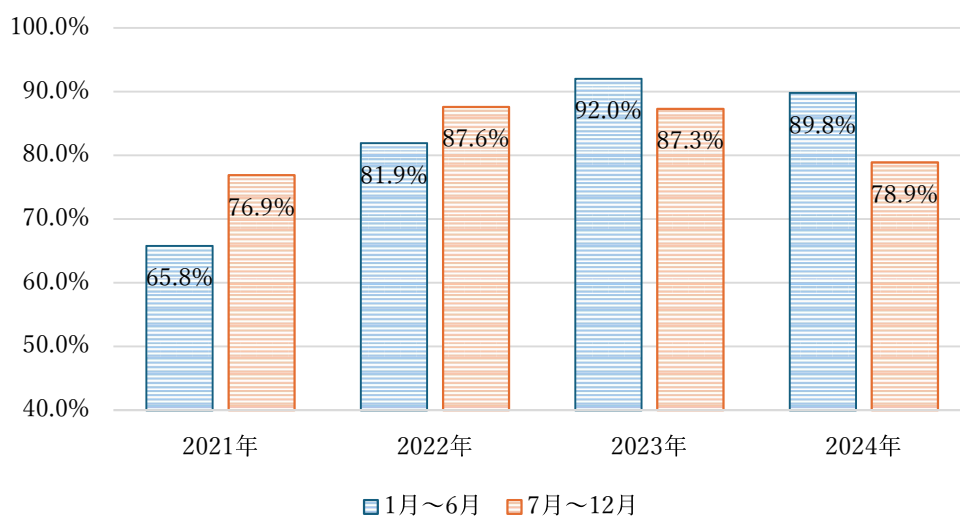


適切な人員を配置することにより患者様への効果的なリハビリテーションの提供に努めてまいります。

3. 重症患者受け入れ割合

「重症患者」とは、日常生活機能評価が10点以上または機能的自立度評価表（FIM）55点以下の患者さんを指します。

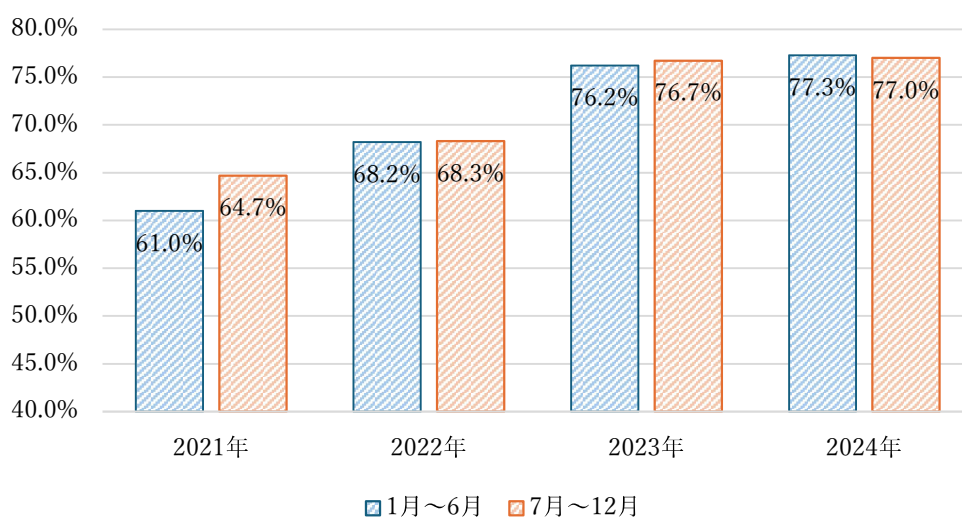
重症患者受け入れ率



4. 重症患者改善率

入院時に重症であった患者さんが、退院時に症状が大きく改善した割合を指します。
（入院時と比較して、退院時に日常生活機能評価で4点以上、又は機能的自立度評価表（FIM）総得点で16点以上改善）した割合。

重症患者改善率

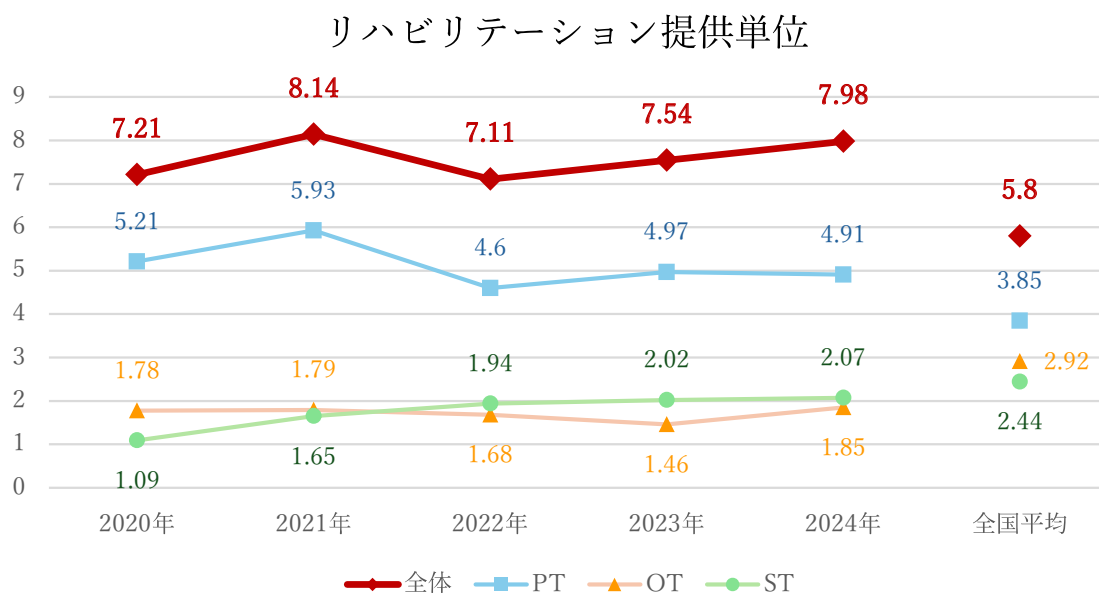


多くの重症患者様の受け入れを行うと共に、高い改善率を実現しております。
今後とも患者様並びにご家族様のニーズに合せ、質の高いリハビリテーションの提供を継続してまいります。

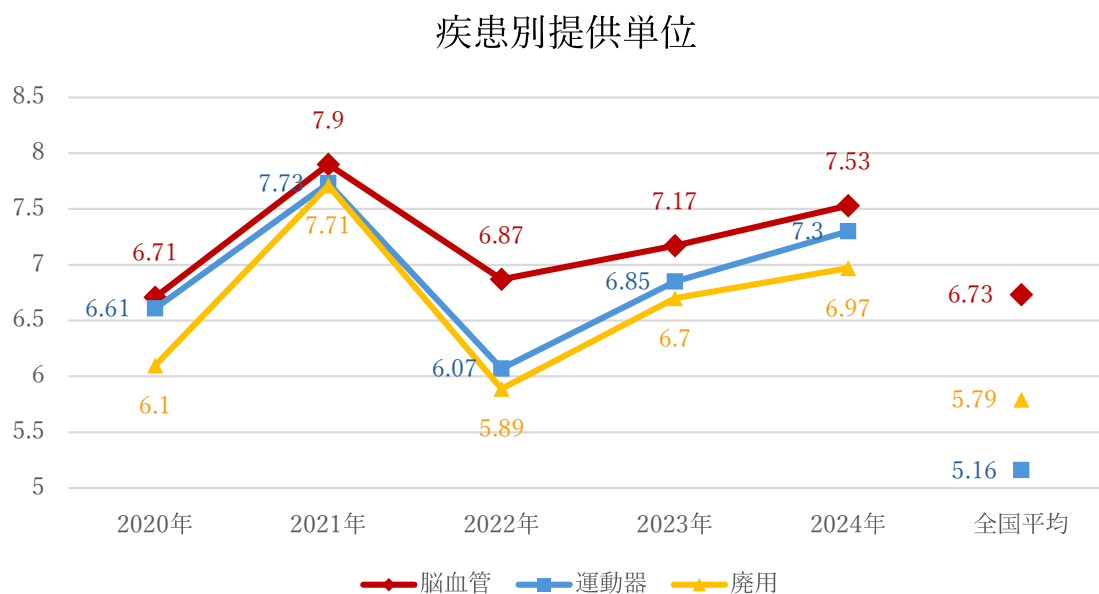
5. リハビリテーション提供単位

リハビリテーション提供単位とは、20分を1単位として、患者さん1人当たりのリハビリテーション提供時間を示します。回復期リハビリテーションにおいては、診療報酬の定めにより患者さん1人1日あたり最大9単位が上限となっており、定められた単位数をできる限り提供することで効果の最大化を図ります。また、単位外での集団トレーニングなどを提供することで、更なる質の向上を目指しております。

① 患者1人1日当たりの個別リハビリテーション提供単位数・年別（1単位＝20分）



② 患者1人1日当たりの疾患別リハビリテーションごとの提供単位数・年別（1単位＝20分）



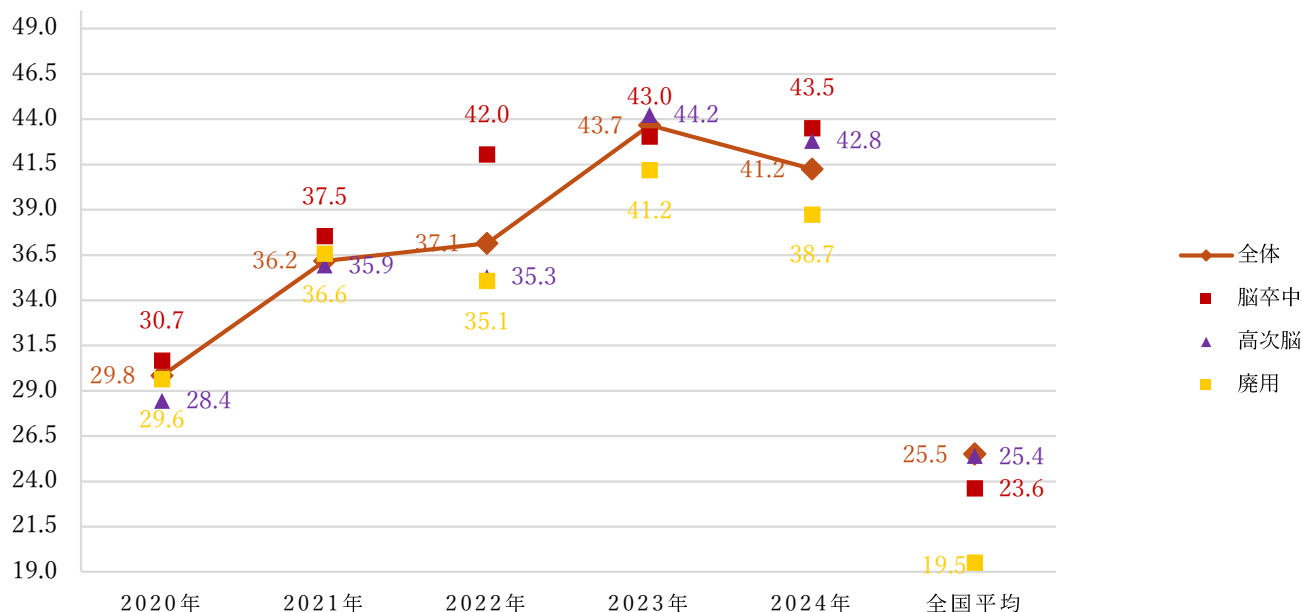
全国平均を上回る単位の提供が実現できておりますが、更なる効果の最大化を目指し提供単位数の増に努めてまいります。

6. FIM 改善度(利得)・実績指数

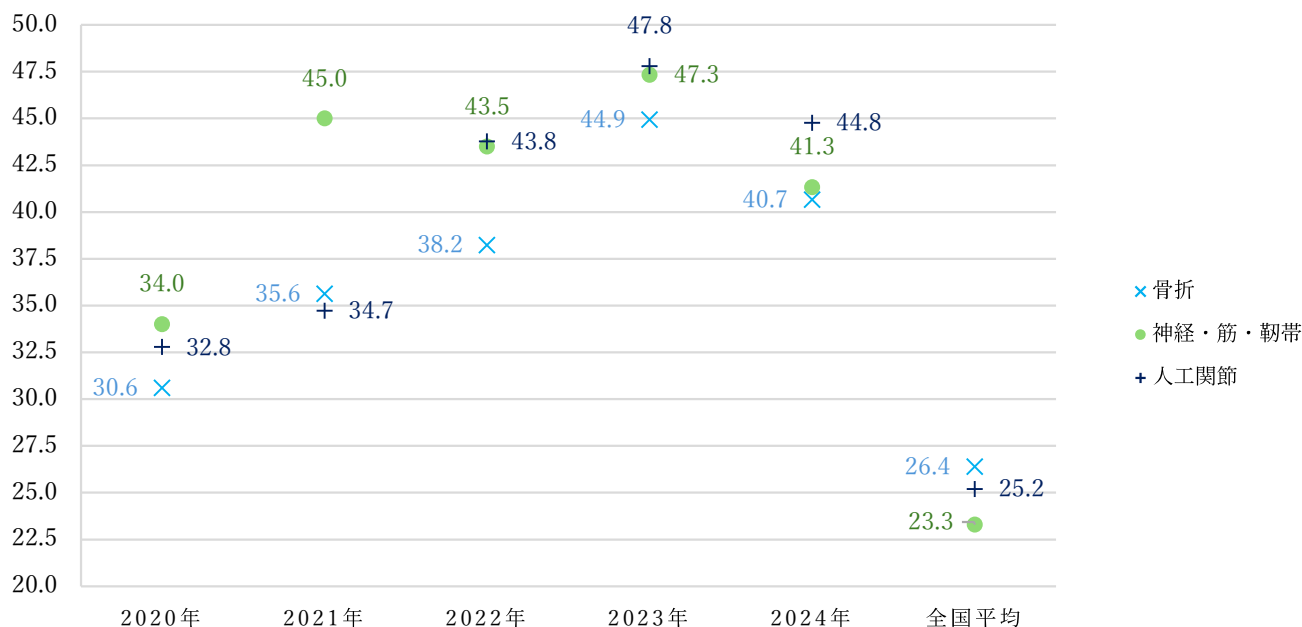
① FIM 改善度(利得)

入棟時の機能的自立度評価表（FIM）と退棟時の機能的自立度評価表（FIM）の差を指します。
『入院してから退院するまでどのくらい FIM の点数が上がったか』を表します。

FIM改善度(利得)_脳血管疾患・廃用症候群



FIM改善度(利得)_運動器疾患



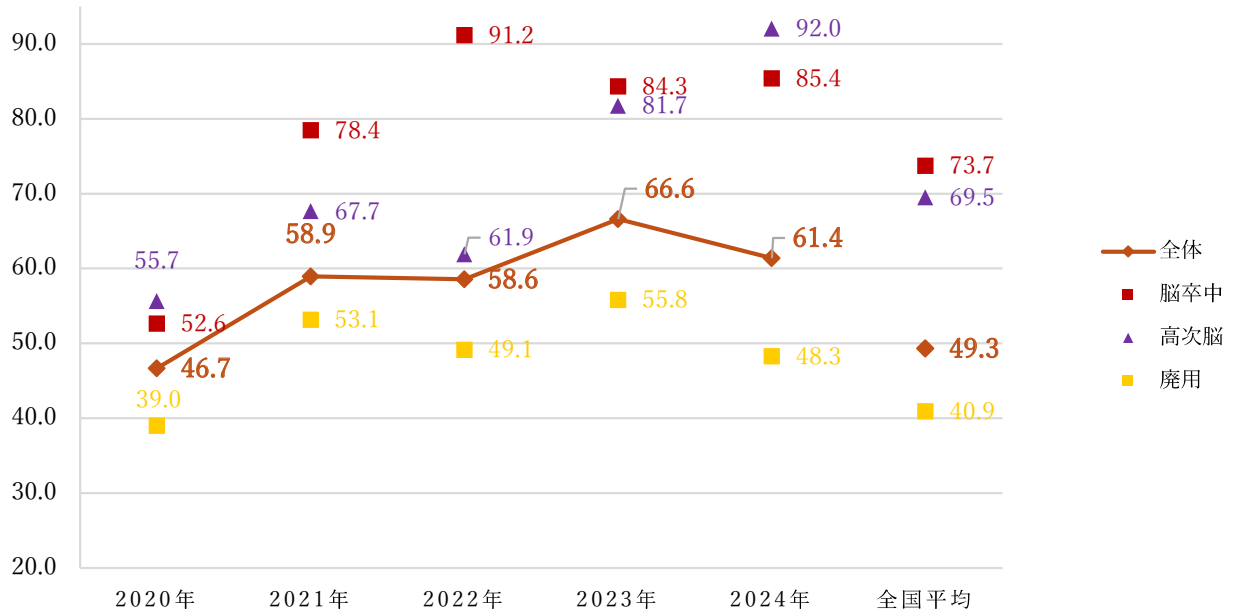
全国平均を上回る改善度が得られておりますが、今後も高い改善度の維持・向上に努めてまいります。

② リハビリテーション実績指数

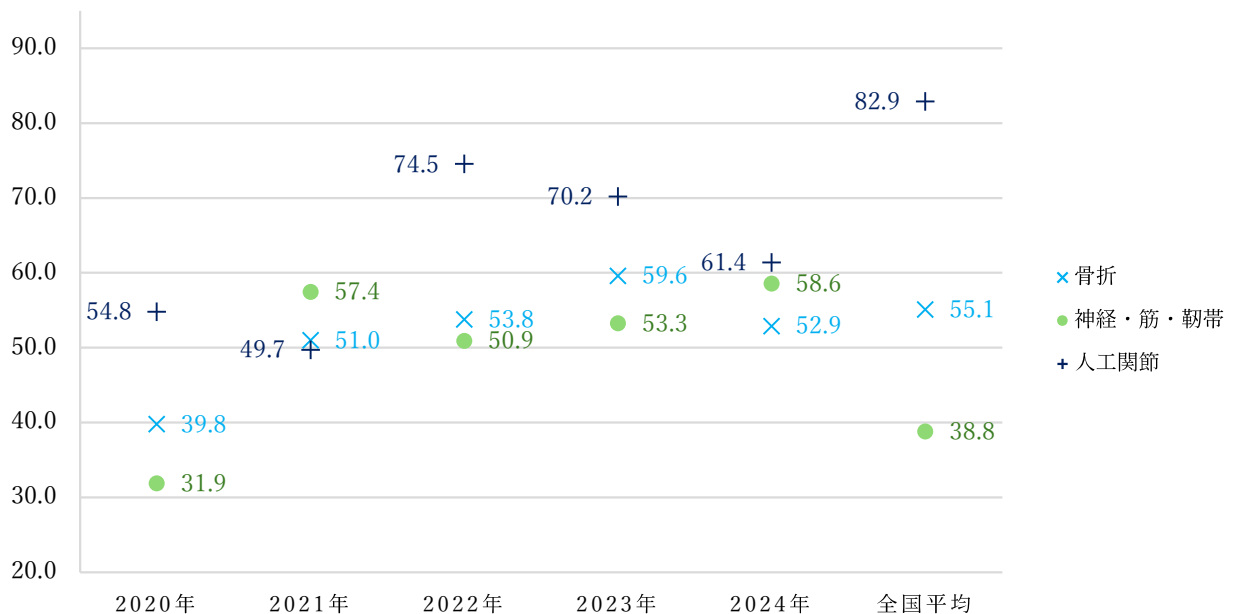
リハビリテーション実績指数とは、入院期間にどれだけ効率的に日常生活を改善できたかを示す指標です。実績指数の計算式は、FIM 利得を在棟日数を疾患別の算定上限日数で割った値です。

※FIM：機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）

疾病別実績指数_脳血管疾患・廃用症候群



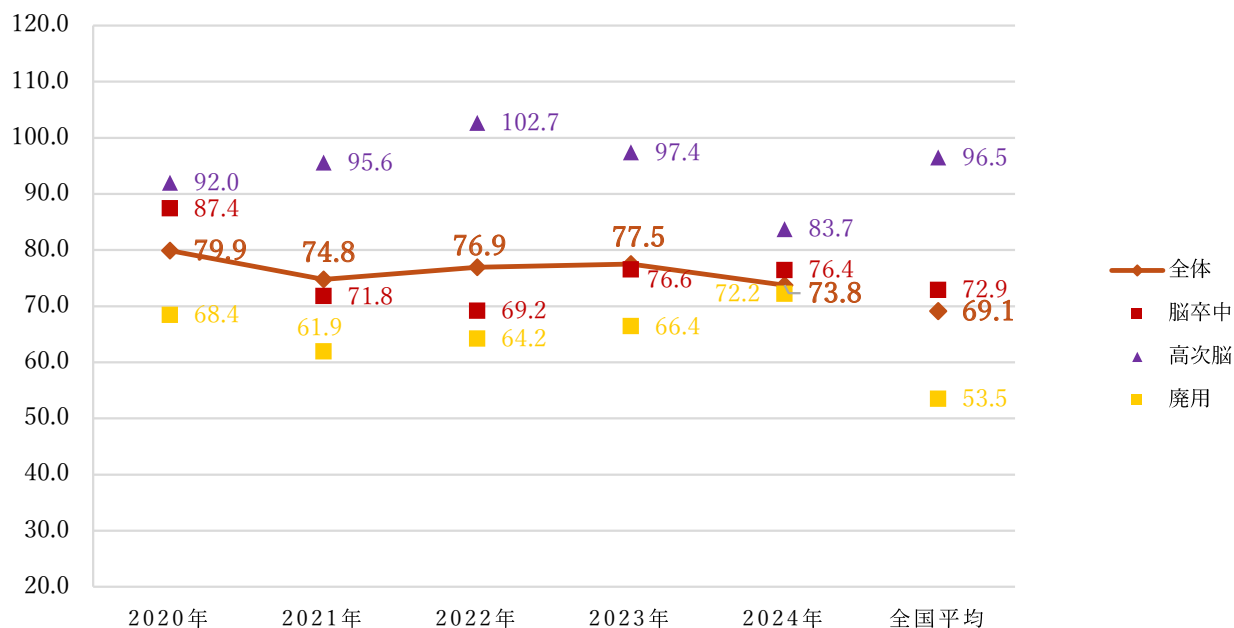
疾病別実績指数_運動器疾患



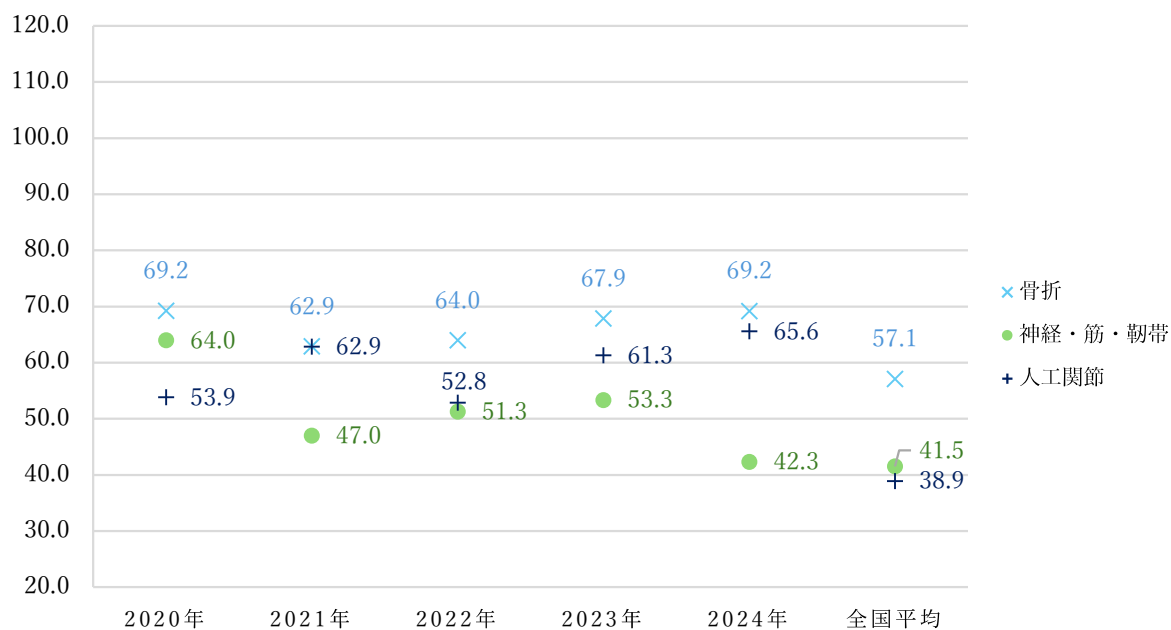
高い重症受け入れ率並びに限られた入院期間の中で、基準を上回る実績指数が得られておりますが、更なる効果の最大化を目指してまいります。

7. 疾患別平均在院日数

疾病別在院日数_脳血管疾患・廃用症候群



疾病別在院日数_運動器疾患

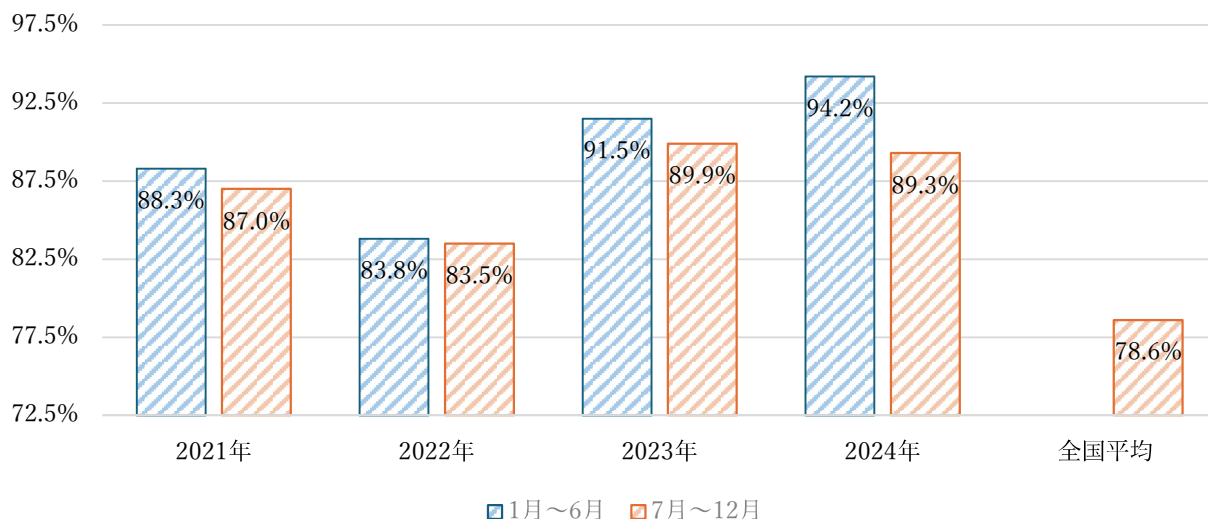


より短い期間で、より高い効果が提供できるよう努めてまいります。。

8. 在宅復帰率

在宅復帰率は、回復期リハビリテーション病棟の要件となっており、当院の施設基準の場合 70%以上が基準となっています。ADL（日常生活動作）の向上による、在宅復帰を目指すという回復期リハビリテーション病棟の本来の役割を果たせるよう、多職種で共同しチームアプローチを実践し、カンファレンス等を通じて患者さんができる限り、在宅復帰ができるよう支援しております。

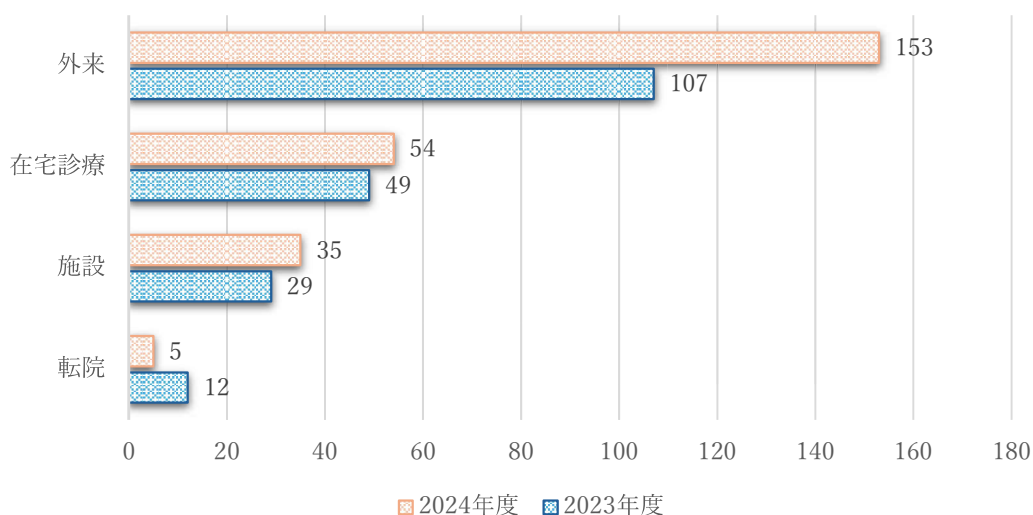
在宅復帰率



9. 退院時グループ支援

退院時、当グループ内の外来診療・リハビリテーションや、在宅診療など、シームレスなフォローアップの体制を構築しています。

タムスグループ内 移行支援



(※当院病院全病棟データ)

全国平均を上回るご自宅等への退院実績を実現しております。

また、退院後のフォロー体制も整っており、外来診療・外来リハビリテーション並びに訪問リハビリテーション(訪問看護)による治療、リハビリテーションの継続が可能となっているとともに、当院が対応できない地域へも地域移行支援としてグループ内サービスが充実しております。